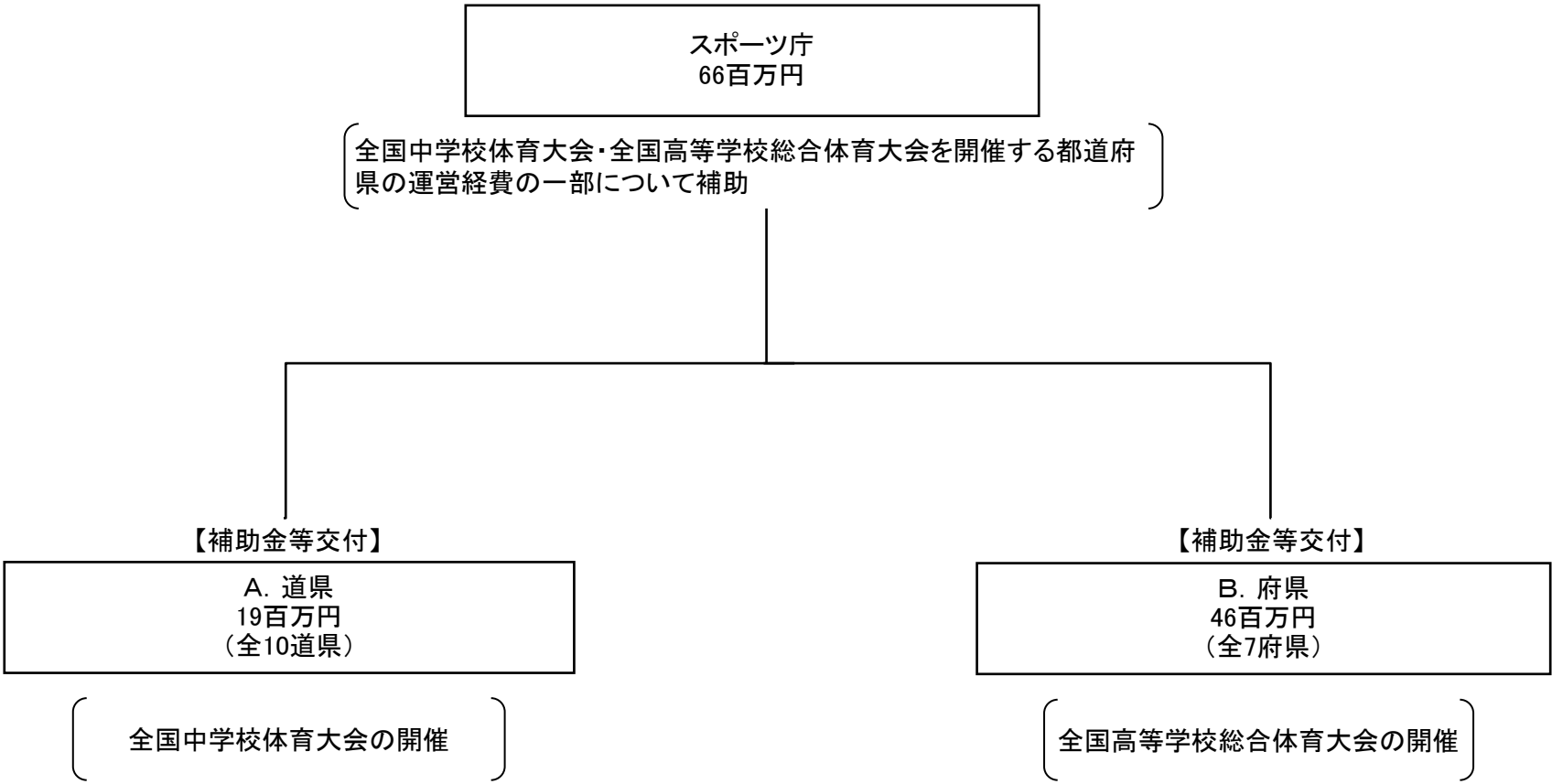


	令和5年度行政事業レビューシート					( 文部科学省 )	
事業名	中学校・高等学校スポーツ活動振興事業			担当部局庁	スポーツ庁		作成責任者
事業開始年度	昭和60年度	事業終了 (予定)年度	終了予定なし	担当課室	地域スポーツ課		地域スポーツ課長 橋田 裕
会計区分	一般会計						
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	スポーツ基本法第33条第1項第2号			関係する 計画、通知等	第3期スポーツ基本計画(令和4年3月25日策定)		
政策	11 スポーツの振興			主要経費	教育振興助成費		
施策	11-1 東京大会を契機とした共生社会の実現、多様な主体による参画の実現						
政策体系・評価書URL	https://www.mext.go.jp/content/20221215-mxt_kanseisk01-000026547-33.pdf						
事業の目的 (5行程度以内)	全国中学校体育大会及び全国高等学校総合体育大会の実施及び運営に要する経費のうち、開催地の都道府県において要する経費の一部を国が補助し、もって中学校及び高等学校、地域のスポーツ団体等のスポーツの振興に寄与することを目的とする。						
現状・課題 (5行程度以内)	昭和60年度に開始した継続事業であり、スポーツ基本法に定められた国の補助事業である。全国中学校体育大会においては、夏季大会16競技、冬季大会4競技が実施され、全国高等学校体育大会においては、夏季大会30競技、冬季大会4競技が実施されている。大会運営に要する経費の一部を補助することで、中学校及び高等学校、地域のスポーツ団体等のスポーツの振興に寄与している。全国中学校体育大会の在り方については、今後見直しの検討が必要である。						
事業概要 (5行程度以内)	全国中学校体育大会及び全国高等学校総合体育大会の開催地である都道府県のうち、補助金の交付を申請する都道府県に対し、大会運営に要する経費の一部を国が補助する。大会運営に要する経費のうち、補助の対象科目は、諸謝金(競技役員等の謝金に限る)、旅費(選手旅費は除く)、褒賞費、消耗品費、賃金、印刷製本費、通信運搬費、借料及び損料、会議費とし、定額を補助する。						
事業概要URL	-						
実施方法	補助						
補助率等	全国中学校体育大会及び全国高等学校総合体育大会の開催地の都道府県に対して、運営に要する経費の一部を補助【補助率:定額】(※補助上限額:運営に要する経費のうち、開催地の都道府県の負担額)						
予算額・ 執行額 (単位:百万円) (インプット)			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度要求
	予算の 状況	当初予算(A)	66	66	66	66	66
		補正予算(B)	844	-	-	-	
						-	
						-	
						-	
						-	
						-	
		前年度から繰越し(C)	-	-	-	-	-
		翌年度へ繰越し(D)	-	-	-	-	
	予備費等(E)	-	-	-	-		
	計(F) =(A)+(B)+(C)+(D)+(E)	910	66	66	66	66	
	執行額(G)		456	65	66		
	執行率(%) =(G)/(F)		50%	98%	100%		
当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%) =(G)/[(A)+(B)]		50%	98%	100%			
令和5・6年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算項・目		令和5年度当初予算	令和6年度要求	主な増減理由(・要望額・予備費)		
	(項)	スポーツ振興費					
		(目) 地方スポーツ振興費補助金	66	66			
		その他					
	計(A)		66	66			

活動内容① (アクティビティ)		全国中学校体育大会及び全国高等学校総合体育大会の開催地の都道府県を対象に、大会運営に要する経費の一部を国が補助する。									
↓											
活動目標及び活動実績 ① (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込	
		全国中学校体育大会及び全国高等学校総合体育大会の開催・中学校、高等学校のスポーツの振興への寄与	全国中学校体育大会及び全国高等学校総合体育大会運営事業に対して補助を行った競技数	活動実績	件	5	52	51	54	54	
				当初見込み	件	54	54	54	54	54	
↓	成果目標①-1の 設定理由 (アウトプットからのつながり)	全国中学校体育大会及び全国高等学校総合体育大会は、教育活動の一環として広くスポーツ実践の機会を与え、心身ともに健全な青少年を育成することを目的とした大会である。大会の対象競技が、適切に実施、運営されることで、安心して生徒が競技を継続することができ、学校運動部活動及び地域のスポーツ団体等の活動に寄与することが期待できるため。									
成果目標及び成果実績 ①-1 (短期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 7 年度		
		運動部やスポーツクラブに所属する生徒の割合が平成24年度以降で最も高くなること ※平成24年度以降で最も高いのは、平成29年度の73.5%	運動部やスポーツクラブに所属する生徒の割合 ※数値は「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」によるもの	成果実績	%	－	70.4	71	－		
				目標値	%	－	73.5	73.5	73.5		
				達成度	%	－	95.8	96.6	－		
成果実績及び目標値の根拠として用いた統計・データ名(出典)/定性的なアウトカムに関する成果実績		全国体力・運動能力、運動習慣等調査(スポーツ庁調べ) 令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響による学校の一斉臨時休校等の発生により調査未実施									
↓	成果目標①-2の 設定理由 (短期アウトカムからのつながり)	全国中学校体育大会及び全国高等学校総合体育大会が適切に運営され、学校運動部の活動が活性することで、運動習慣が確立され、子供たちのスポーツに取り組む意欲が向上する。									
成果目標及び成果実績 ①-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 8 年度		
		子供たちのスポーツに取り組む意欲が向上すること。	卒業後、自主的に運動やスポーツをする時間を持ちたいと思う」「やや思う」と回答する生徒の割合 ※数値は「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」によるもの	成果実績	%	－	－	－	－		
				目標値	%	－	－	－	90		
				達成度	%	－	－	－	－		
成果実績及び目標値の根拠として用いた統計・データ名(出典)/定性的なアウトカムに関する成果実績		第3期スポーツ基本計画 全国体力・運動能力、運動習慣等調査(スポーツ庁調べ)									
アウトカム設定についての説明		アクティビティ①について定性的なアウトカムを設定している理由									
		－									
		アクティビティ①についてアウトカムが複数設定できない理由									
		－									
事業に関連するKPIが定められている閣議決定等	名称	－									
	URL	－									
	該当箇所	－									

[illegible]

※令和4年度実績を記入。なお、金額は単位未満四捨五入して記載していることから、合計が一致しない場合がある。



資金の流れ  
(資金の受け取り先が  
何を行っているかにつ  
いて補足する)  
(単位：百万円)

